

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-07-0006_改0
提出年月日	2021年6月15日

## 工事計画に係る説明資料

### 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置

(本文)

2021年6月

東北電力株式会社

## 申請範囲

### 6. 放射線管理施設

#### 6.3 生体遮蔽装置

##### (2) 二次遮蔽

- ・ 2次しゃへい壁（原子炉建屋原子炉棟外壁）

##### (3) 補助遮蔽

- ・ 補助しゃへい（原子炉建屋）
- ・ 補助しゃへい（タービン建屋）
- ・ 補助しゃへい（制御建屋）

##### (4) 中央制御室遮蔽

- ・ 中央制御室しゃへい壁（制御建屋）
- ・ 中央制御室待避所遮蔽（制御建屋）

##### (5) 原子炉遮蔽

- ・ 原子炉しゃへい壁

##### (6) 緊急時対策所遮蔽

6.3 生体遮蔽装置

(2) 二次遮蔽

名 種	称 類	変 更 前			変 更 後		
		主 要 寸 法 (最小厚さ mm *1, *2, *3)	冷 却 方 法	材 料	主 要 寸 法 (最小厚さ mm)	冷 却 方 法	材 料
2次しゃへい壁 (原子炉建屋 原子炉棟外壁)	地下3階 O.P. -8100		自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上*2)	変更なし		
	地下中3階 O.P. -3300						
	地下2階 O.P. -800						
	地下中2階 O.P. 1100						
	地下1階 O.P. 6000						
	地下中1階 O.P. 11500						
	地上1階 O.P. 15000						
	地上中2階 O.P. 18300						
	地上2階 O.P. 22500						
	地上中3階 O.P. 28500						
	地上3階 O.P. 33200						
	地上中4階 O.P. 41200						
屋上階 O.P. 50500							

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。  
 \*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。  
 \*3 : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

(3) 補助遮蔽

			変更前			変更後			
名種	称類	主要寸法 (最小厚さ mm *1, *2, *3)	冷却方法	材	料	主要寸法 (最小厚さ mm)	冷却方法	材	料
補助 しゃへい	原子炉建屋	地上1階 O.P. 15000	自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上*2)			変更なし		
		地上中2階 O.P. 18300							
		地上2階 O.P. 22500							
		地上中3階 O.P. 28500							
		地上3階 O.P. 33200							

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。  
 \*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。  
 \*3 : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

O2 ① R1 II

			変更前			変更後			
名種	称類	主要寸法 (最小厚さ mm *1, *2, *3)	冷却方法	材	料	主要寸法 (最小厚さ mm)	冷却方法	材	料
補助 しゃへい	タービン建屋	地上1階 O.P. 15000	自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上*2)			変更なし		
		地上中2階 O.P. 17000							
		地上2階 O.P. 24800							
		地上中3階 O.P. 30180							
		地上3階 O.P. 32800							
		屋上階 O.P. 47300							

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。  
 \*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。  
 \*3 : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

名 種			変 更 前			変 更 後		
			称 類	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm * 1 , * 2 , * 3 )	冷 却 方 法	材 料	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm )	冷 却 方 法
補助 しゃへい	制御 建屋	地上1階 O.P. 15000	[ ]	自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上*2)	変更なし		
		地上2階 O.P. 19500						

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

\*3 : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

(4) 中央制御室遮蔽

			変更前			変更後		
名種	称類	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm * 1 , * 2 , * 3 )	冷 却 方 法	材 料	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm * 3 )	冷 却 方 法	材 料	
中央制御室 しゃへい壁	制御 建屋	地上3階 O.P. 23500	自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上* <sup>2</sup> )	変更なし			
		屋上階 O.P. 29150			自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上* <sup>2</sup> )	自然冷却	鋼板 (SS400)

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。  
 \*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。  
 \*3 : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

			変更前			変更後		
名種	称類	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm )	冷 却 方 法	材 料	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm * )	冷 却 方 法	材 料	
中央制御室 待避所遮蔽	制御 建屋	地上3階 O.P. 23500	—	—	—	自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上) 鋼板 (SS400)	

注記\* : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

(5)原子炉遮蔽

名 種	称 類	変 更 前			変 更 後		
		主 要 寸 法 (最小厚さ mm *1, *2, *3, *4)	冷 却 方 法	材 料	主 要 寸 法 ( 最 小 厚 さ mm )	冷 却 方 法	材 料
	原子炉しゃへい壁		自然冷却	モルタル (密度2.15 g/cm <sup>3</sup> 以上*2) 鉄 (SM41B*2)	変更なし		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

\*3 : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。

\*4 : 鉄を含む厚さ。

(6) 緊急時対策所遮蔽

		変更前			変更後		
名種	称類	主要寸法 (最小厚さ mm)	冷却方法	材	主要寸法 (最小厚さ mm *)	冷却方法	材
緊急時対策 所遮蔽	緊急時対策 建屋	地下2階 O.P. 51500	-			自然冷却	普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上)
		地下1階 O.P. 57300					鋼板 (SS400)
		地上1階 O.P. 62200					普通コンクリート (密度2.15g/cm <sup>3</sup> 以上)
		地上2階 O.P. 69400					

注記\* : 主要寸法欄は ( ) 内に公称値を示す。